時事新報

第九百十二號

明治十八年三月十日（西暦一千八百八十五年）

火曜日

日曜日休刊

曜遞局認可

東京圖書館

公報

○太政官布告第八號

明治七年（十二月）第百三十號布告中左ノ通改正削除ス

「歩騎砲三兵聯隊軍旗幷ニ歩兵大隊旗及ヒ同響導旗」トアルヲ「歩兵騎兵聯隊軍旗」ニ改ム

「歩兵聯隊軍旗」ノ下割注中「緑紫色ハ絹絲」トアルヲ「緑ハ絹絲ニシテ常備軍聯隊軍旗ハ紫色後備軍聯隊軍旗ハ赤色トス」ニ改ム

「騎兵砲兵聯隊軍旗（周圍黄色ハ金モール緑紫色ハ絹絲）」トアルヲ「騎兵聯隊軍旗（周圍及緑ハ歩兵聯隊軍旗ニ同シ）」ニ改ム

歩兵大隊旗及歩兵響導旗ノ六圍ヲ削除ス

右奉勅旨布告候事

明治十八年三月九日　太政大臣公爵三條實美

陸軍卿伯爵大山巖

○警視廳達乙第二號

明治十五年（十二月）乙第十八號達貸座敷引手茶屋娼妓取締規則第十四條第二十七條左之通リ改正候條右業體ノ者ヘ相達ス可シ

第十四條　本則ノ外渡世上ニ關シ輕重罪ニ處セラレタル者及ヒ賣淫罰則ニ違背シタル者ハ情狀ニヨリ其渡世ヲ停止若クハ禁止スルコアルヘシ

第二十七條　通行人ニ遊興ヲ勸メ又ハ車夫其他ノ者ト謀リテ誘引シ或ハ遊興ヲ勸ムル目的ヲ以テ種々ノ廣告等ヲ爲スヘカラス

右相達候事

明治十八年三月九日　警視總監大迫貞清

賞勳敘任

○明治十八年三月七日

參議兼宮內卿從三位勳一等伯爵　伊藤博文

獨逸國皇帝陛下ヨリ贈與シタル正冠第一等勳章ヲ受領シ及ヒ佩用スルヲ允許候事

時事報報

日清談判、英國ノ喜憂

佛清兵連ル年又年、其間對局者ノ軍費損害等ハ幾ンド貨ラレザル可シト雖モ之ヲ傍觀スル中立國ニテモ亦其商賈ヲ妨害セラレテ爲メニ大損毛ヲ被ルモノ少ナカラズ特ニ支那ヲ以テ一大花主トスル英國ノ如キハ其取引上ニ非常ノ影響ヲ受ケタルガ故ニ在支那ノ英國人ハ其商法會議所ノ議決ヲ經テ佛清事件ノ仲裁ヲ歐洲諸大國ニ訴ヘ本國政府モ亦此事件ノ早落着ヲ望ミ同外務卿ガ佛清兩政府ニ向テ其調停ヲ試ミシコト殆ンド數四ニ及ヒタレ共双方行キ掛リノ痩我慢ニテ每度之ヲ拒絶シタレバ佛清調停ノ事ハ最早今日ニ望ミナシトテ扨テ此事件ハ如何ニ落着ス可キヤト考フルニ其落着ノ日ハ支那ガ每戰佛軍ニ破ラレ太沽陷リ天津破レテ北京城下ノ盟ヲ爲スカ或ハ佛兵奔命ニ疲レ北上將迫ノ報モ書餅ニ屬シ精銳モ力屈シテ中道ニシテ休戰スルカ二者其一ニ居ル ノ時ナル可シ夫レ然リ然リト雖モ支那モ若大帝國ナリ佛國モ亦強國ナレバ兩國孰レニテモ右ノ時日ニ達スルマデニハ今ヨリ長日月ヲ費サヾル可ラズ英國ハ此長日月間ニ其商賈ノ損毛ニ堪ユ可キヤ決シテ堪ユ可ラザルコトナラン既ニ堪ユ可ラズトシテ英國ノ爲メニ謀ルトキハ佛清孰レニテモ早ク勝敗ヲ決スルニ若カズ而シテ今日ノ勢、佛國先ツ敗ル可キ歟ト云フニ佛國ハ名ニシ遠フ歐洲ノ任俠國ニシテ歷史ニ對シ祖先ニ對シテ國ノ名譽ヲ重スルヿ他ニ其比例ヲ見ザル程ナレバ縱ヒ國力ハ疲弊シテ唯皮骨ノミヲ剩スニ至ルトモ支那人ニ打チ負ケテ默止スルモノニ非ザルハ多年ノ經驗ニ於テ英國人ノ熟知スル所ナラン果シテ然ラバ英國ハ何樣ノ手段ヲ用フルトモ先ツ支那人ノ失敗ヲ促シ其ヲシテ早ク佛國ニ低頭セシメ斯クテ佛清ノ無事ヲ招クノ策略ヲ立テザル可ラズ策略愛ニ立テ之ヲ實行スルノ方便ハ種々樣々ナル可シト雖モ支那ニ對シテ何樣カノ難題ヲ言ヒ掛ケ口實ヲ設ケ辭柄ヲ握リテ一寸モ動カズ果テハ佛國ト聯合シテ咸豐年中ノ活劇十八番ヲ再演シ有無ヲ言ハセズ北京政府ノ喉ヲ扼シテ自國並ニ佛國ノ要求ニ應セシメ一擧匆忙ニ事局ヲ結ンデ早ク審時ノ平和ニ復スルガ如キモ亦其方便中ノ一ナラント思ハルヽナリ

英國ハ右ノ方便ニ由テ佛清兩國ノ戰根ヲ斷グントスルカ其力必ズシモ之ヲ能クシ難キニハ非ザル可シト雖モ英國ハ目下埃及ノ遠征最中ニシテ ごるどん少將ノ計音ヲ報スルノ電線尙未タ雲ヒ止マザルニウとるすれい將軍モ亦危地ニ陷リタリトノ報知アルガ如キ有樣ナレバ今ノ改進黨內閣ニテハ又々渤海ニ事アルヲ望ムヿ能ハズ此際已レ代テ佛國ヲ援ケ己レノ爲サント欲スル所ヲ爲シテ早ク佛清間ノ事局ヲ結ハシムルモノハナキカト窃カニ天下ヲ睥睨シツヽアルヿナル可シ然ルニ今ヤ我國ニテハ朝鮮事變ノ際ニ支那人ヨリ被リタル不敬損害ニ對シテ大ニ北京政府ニ談判スル爲メ伊藤特派全權大使ヲ北京ヘ派遣シ其一行ハ今方ニ使命ノ途次ニアリナルヿニ非ズ我レニ被リタル損害不敬アレバ行テ其箇條ヲ示談シ我要求ノ滿足ヲ得ント欲スルマデニシテ北京政府ニテモ剛愎狠戾ニ非ザル限リハ亦其要求ニ應シテ日清談判愛ニ平和ノ落着ヲ得ルナラント思考スルノ外ナシト雖モ英國人等ヨリ之ヲ視レバ其間ニ又種々ノ想像ヲ画キ萬一日清ノ談判困難ナルニ至リテ双方斷然グル處置ニ出ツルヿモアラバ日佛間豎スルハ必定、斯テ支那ヲ共攻スレバ支那モ即座ニ降服シテ東洋一時ノ平和ヲ復シ英國ノ如キモ慶色ヲ動カサズシテ商賈上ノ損害ヲ免レヲ得ン抔ト窃カニ奇想ヲ抱クモノナシト云フ可ラズ左レバ此度ノ談判ハ其成行最モ英國人ノ喜憂ニ關シ在東洋ノ英國外交官ハ申ス迄モナク必アル英人民ハ皆ナ此談判ニ注目スルナラン我日本人ヨリ視テハ等閑人國際談判ナリト思雖スルモ支那朝鮮一般ノ心ガ此談判ニ向テ重量ヲ加ヘタル以上ハ此談判ノ當局者モ亦日本國ノ榮辱ヲ目的トシテ內外國人ノ企望ヲ空ウスルナカランコトヲ祈ルナリ

雜報

○學生再審檢査委員長　三好陸軍中將ハ去る七日陸軍大學校學生再審檢査委員長仰付られたり

○三好中將　第一第二軍管々下巡行仰付けられたる東部監軍部長三好陸軍中將ハ去る七日出發したり

○横井信之氏　名古屋鎭臺病院長横井一等軍醫正は去る六日上京したり

○北村判事　判事北村泰一氏は去る七日司法省に於て大審院刑事局詰を仰付られたり

○陸奥宗光氏　には昨年來英國倫敦府に滯在し居たりしが二月下旬頃より歐洲大陸諸國に遊歷する等なりし由一月廿三日附にて東京に達したる信書に見えたる由

○山內長人氏　中部監軍部參謀山內步兵少佐と名古屋大阪岡鎭臺營所丼に演習地へ去る七日出張したり

○被仰付　大藏省准奏任御用掛兼勤、東京山林學校教授心得（一箇年手當金二百五十圓）を仰付らる愛媛縣山田香川郡長泉川健氏は去る七日自今月俸六十圓下賜候旨仰渡されたり

○補缺乘組　海軍中尉淺田吉正海軍中主計林一雄海軍少軍醫岡本覺太郎の三氏は去る四日孰れも艦隊演習中蒼龍艦補缺として乘組仰付らきたり

○實地架橋演習　近衞工兵中隊は來る廿二日より埼玉縣下利根川上流ある女沼邊方に於て實地架橋演習を執行し小松近衞都督宮よりも御出張の等ありと

○昇級試驗　明十一日より海軍々醫學舍に於て同軍醫補の昇級試驗を執行なすといふ

○中央亞米利加の叛乱　一月九日パナマ發の報に中央亞米利加の四箇國は即今謀叛中にてパナマ政府ハカンカを向けて軍隊を派遣せり然るに政府の軍隊はジャンガに於て賊軍の破る所となれり或は恐る此より一般の戰爭を惹起さんとを昨日叛將シント トンゴ ウイラはパナマの政權を簒奪せりと見えたり

○地價割段別割　區町村費の地價割段別割の儀に付東京府調査課長より去る六日同府郡區長へ左の如く通知したりと

客年丙第八十三號及本年丙第一號達中地價割段別割トアルハ例ヘハ土木費中道路費ハ地價割ニ用惡水費ハ段別割ニ爲スヲ得ルカ如キ者ニシテ固ヨリ道路費ノ一項目ニ對シ之ヲ併課シ又ハ用惡水費ノ一項目ニ對シ之ヲ併課スルノ趣意ニ無之命ニ依リ此段及御通知候也　但本文ノ縣戶長ヘ御通達有之度候也

○名古屋通信　三月一日愛知縣名古屋發通信

本縣通常會閉會の期も既に迫りなれば來る五日より常置委員會と開く手筈なりと聞く○本年よりハ本縣警察、勸業の兩費目は郡區兩部に經濟と分離せる豫定の由なれども聞及びしが新縣令に就任當分なれば今一年度丈は從前の儘に據へ置くべしとの事なりたりといへり○除て三州豐橋に鎭台分營の建築中なりしが最早大概落成したれども本月中には兵士の分派あるべしといへり其兵員は二大隊なりと聞く○本縣下中島郡永村地方は多く切干し大根品ありと聞く地よりの產物なるよや○殖産興業ハ漸く落成して盛大なるが其二ん疊重なる費すと如何なる日々の新聞紙若かず我が便利なるも德なれども然れは高知定期船と待至るも亦不再ひ割きて といへり實人工と以て人報と得たれより此事たされは三縣相成れは充合の由拠て自由に人多數港より殆と四十にして且十の事たる幾成に至れと の如きい定々航海船あ

○全國稻作地方の稻作

例

一作柄分合

一作柄分合